

人の「こころの働き」にアプローチ、 岡山県版ナッジ・ユニットを設置しました。

1 設置の趣旨

行動科学の知見に基づく新たな政策手法※₁として注目されるナッジ※₂を県の施策・事業等に取り入れることを目指し、職員による岡山県版のナッジ・ユニット※₃を設置しました。

※1 従来の政策手法である「法令等による規制」、「補助金や減税等による誘導」、「情報提供による啓発等」に次ぐ新たな政策手法とされています。

※2 ナッジ (nudge : そつと後押しする) は、行動経済学の理論の1つで、個人の選択の自由を阻害することなく各自がより良い選択を行うよう、情報発信や選択肢の提示の方法を工夫するもので、費用対効果が高い新たな手法として注目されています。

※3 イギリスやアメリカをはじめとする諸外国で「ナッジ・ユニット」等と呼ばれる組織の下、ナッジを活用した政策が進められており、日本においても「日本版ナッジ・ユニット (環境省)」や「METI ナッジユニット (経済産業省)」、「YBiT (横浜市)」などが設置されています。

2 取組の内容

①職員等へのナッジに対する理解の浸透

- ・事例、文献紹介等の情報提供
- ・職員研修

②庁内各課における施策・事業等へのナッジ活用の支援

- ・相談対応
- ・ナッジの設計

③ナッジを活用した施策・事業等の効果検証及び検証結果の発信

- ・ナッジの効果検証
- ・ホームページ等での検証結果の発信

④他の地方公共団体をはじめとしたナッジ関連部局との連携

3 ユニットの体制

政策推進課職員で構成

(参考) 行政におけるナッジの活用事例 (日本版ナッジ・ユニット (環境省) HP から)

実施内容

期間 28年度4-5月企画・10月末実施 → 29年3月効果検証

背景 前年度の大腸がん検診受診者 ← 年度初めに便検査キットを送付。しかし実際に「キット使用→受診」は約7割に留まる

取組み 10月時点のキット未使用者へ、はがき送付による受診勧奨(パターンA/B)

パターン A
利得フレームメッセージ

パターン B
損失フレームメッセージ

Behavioral Sciences Team for a better choice

損失を強調したはがきを送付して、大腸がん検診の受診率を向上させた。
(八王子市)

実施内容(宿直明け)

宿直者は翌日の休暇取得をデフォルト化

オプトアウト(勤務)する者のみ
報告様式に新設された該当欄にチェック

氏名	宿直明け休暇の取得
	<input type="checkbox"/> しない
	<input type="checkbox"/> しない

上司は、オプトアウト申告、昨晚の対応状況、健康状態等から休暇取得を奨励

Behavioral Sciences Team for a better choice

宿直明けの休暇取得の申請方法を変更して、職員の休暇取得率を向上させた。
(警察庁/中部管区警察局岐阜県情報通信部)